

# Chœur Rechant



## クール・ルシャン 第2回 演奏会

2000年6月11日(日)  
上野学園 石橋メモリアルホール

### 巻頭雑言

大場 点

今年はバッハ没後250年ということで、国内外でバッハ演奏が盛んに行われている次第。バッハといえば、小中学校の音楽室の壁に掛けられた作曲家の肖像画の、いちばん左端あるいは右端、つまりいちばん古い、というか音楽の創世記を示すような位置に、例のひつじのようなカツラをかぶった顔、さすが音楽の父！とまで云われる大御所然とした顔で、でんと構えているあの、バッハである。しかし、たかだか死んでから250年しかたっていないのかと、認識を新たにせざるを得ないわけであって、というのも、本日の演目にあるデュファイは没後500年余、マシヨーに至っては没後600年余を数える、いわば大御所を一回りも二回りも越えたチョー大物と言えるからである。一方、我が国日本に目を向けてみれば、西洋タイプの音楽の歴史は非常に浅いもので、創始者的存在の瀧廉太郎が没してから97年、山田耕筰に至っては没後35年しかたっていない。といっても今から1世紀余前までは日本は鎖国状態であったのだからこれは当然。それ以前の日本の音楽となると、長唄謡曲義太夫などといわゆる純邦楽になるわけだから、学校教育で西洋音楽しか学んでいない一般人にとっては容易に演奏することはできません。ところが、マシヨーのような何百年も前の西洋音楽を、我々のような結成間もないアマチュア合唱団が、そのときは棚の上に置いておき、とりあえず演奏できてしまうのは何やらへんでこりんである。で、だから何だということではなく、つまり、本日は西洋と日本の古いところを選んで、また流行にのってついでにバッハを演奏してしまおうという安易な企画で、どうぞお楽しみ下され。

### プロフィール

指揮者 大場 点  
昨年第1回の演奏会を振り返って... 黒のジャケットがきつくて腕を振り回すのに難儀した。本当は服に合わせて体を絞らねばならないのですが、結局、新調してしまいました。

ヴォイストレーナー 桜井和子  
上野学園大学音楽部声楽科卒業。平田黎子、森明彦両氏に師事。呼吸法に気功を取り入れたユニークな発声指導を実践。で、結局のところ発声練習は筋肉トレーニングに他ならないわけです。

### プログラム

I ギヨーム・ド・マシヨー Guillaume de Machaut (c.1300-1377)  
Lai - Chase 狩り(カノン)のレ  
Messe de Notre Dame ~ ノートルダム・ミサ曲より  
Kyrie キリエ  
Credo クレド

II ギヨーム・デュファイ Guillaume Dufay (c.1400-1474)  
Messe "Se la face ay pale" ~ ミサ「もし私の顔が青いなら」より  
Sanctus サンクトゥス  
Hymns "Conditor alme siderum" 賛歌「天の好意ある創始者よ」  
Messe "Se la face ay pale" ~ ミサ「もし私の顔が蒼いなら」より  
Agnus Dei アニュス・デイ

----- Intermission -----

III 山田耕筰 (1886-1965)  
この道 北原白秋 作詩  
洗濯姫さん 川路柳虹 作詩  
夕焼雲 三木露風 作詩  
鳥の番雀の番 野口雨情 作詩  
電話 川路柳虹 作詩  
あわて床屋 北原白秋 作詩  
待ちぼうけ 北原白秋 作詩  
編曲 増田順平

IV J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)  
スーパー・コーラル・ワーク  
早口ことばッハ64 編曲 大場 点

指揮 大場 点



I 狩り(カノン)のレ  
ノートルダム・ミサ曲

ギョーム・ド・マジョー 作曲

14世紀ヨーロッパはそれまでの封建的社會が徐々に崩壊し、町人出身の富豪達が台頭していった。それに伴って市民階級の間で芸術が大きく花開き、音楽では従来の宗教的なもの以外に世俗歌曲の分野が著しい発展をとげた。この時期の音楽を、当時の詩人ド・ヴィトリ著のリズム理論書「アルス・ノヴァ」にちなみ、アルス・ノヴァの音楽と呼んでいる。マジョーはアルス・ノヴァを代表する作曲家であり、また詩人でもあった。彼は百数十曲におよぶ作品を残しているが、その特徴となる形態はイソリズム(定型反復リズム)と呼ばれるリズム技法にある。この技法はさらに複雑化しつつ、次の時代のデュファイへと引き継がれていく。本日はじめに演奏する「レ」は、中世フランスの歌と詩の形式で13世紀頃に北フランスで発展した。chaseとは狩りを模倣した音楽のタイトルでカノンを意味している。ノートルダム・ミサ曲は、キリエからイテ・ミサ・エストに至るミサ通常文すべてを、一人の作曲家が通作した最初の実例である。本日演奏するキリエには、グレゴリオ聖歌の旋律がテノール声部に配されたイソリズムの手法が用いられている。

II ミサ「もし私の顔が青いなら」  
賛歌「天の好意ある創始者よ」

ギョーム・デュファイ 作曲

今日いわゆるルネッサンス音楽は、一般的には15世紀中頃のブルゴーニュ公国を中心として活躍したフランドル出身の音楽家たちによってもたらされたものと認識されている。彼らを総称してブルゴーニュ楽派とよび、その中の最も重要な作曲家がデュファイであった。彼は、マジョー以来の旋律法やリズム法を完全に消化し、そこへ近代的機能と和声法や対位法を融合させ、全く新しい音楽技法を完成させていった。彼の作曲の中で最も重要な意義を持つのは、やはりミサ曲であろう。彼はミサ通常文各章に共通した音楽素材や手法を用い、全曲の有機的統一を図った全く新しいスタイルの通作ミサ曲、いわゆる循環ミサを完成させた。ミサ「もし私の顔が青いなら」もそのひとつで、テノール声部に同名の世俗歌曲の旋律が定旋律として用いられている。

デュファイはミサ曲の他に、聖務日課に使用される実用的なイムヌス(賛歌)を多数作曲している。いずれもグレゴリオ聖歌の主題が導入する短い小品で、豊かな和声的処理が特徴となっている。

III この道 他

山田耕筰 作曲/増田順平 編曲

日本では大正期の後半、歌曲・童謡の作曲が最高潮に達していた。その背景には、「赤い鳥」をはじめとする多くの雑誌が、歌曲・童謡などの小規模な作品の発表媒体となっていたことがあげられるだろう。ちょうどその頃、カーネギーホールでの自作品の演奏会を終えて帰国した山田耕筰は、北原白秋との出会いを通じて歌曲・童謡の作曲という新しい局面へと進んでいった。そして、1925年前後の数年間に実に多くの歌曲を作曲している。山田耕筰の全作品総数は約1600曲だが、そのうち歌曲は約700曲にのぼる。彼は、歌曲を作曲するのは「詩に旋律の衣あむ」行為だと明言しており、事実彼の作曲過程は、まず詩を熟読し、次に歌唱旋律をスケッチし、最後にピアノ伴奏を付すというものであった。本日演奏する曲のうち、「待ちぼうけ」は1923年の作品、他の6曲は1926年に作曲された「童謡百曲集」に納められた作品である。

1965年日本合唱協会が病床の山田耕筰を励ます音楽会を催した際、増田順平によって混声合唱への編曲がなされた。山田耕筰の歌曲に特有の詳細な発想記号が十分に生かされ、原曲のよさを損なわないものとなっている。

IV 早口ことばッハ64

J.S.バッハ 作曲/大場 点 編曲

バロック時代の楽曲には、楽器の指定があいまいであったり、他の作曲家の作品を勝手に違う楽器編成に編曲したりといった、今では考えられないことが行われていたようだ。バッハ作品にも、全く同じ曲でヴァイオリン協奏曲とチェンバロ協奏曲があるし、遺作の「フーガの技法」には演奏楽器の指定が無い。音色に対する追求が為されていなかったと言ってしまうまでもだが、逆に言えばフレキシビリティに富んでいるということでもあろう。クラシックのポップス編曲ものは、たいていの場合興奮的なBGMにしかならないが、バッハの場合、たとえばジャック・ルシエ・トリオ等のジャズ編曲や、スウィング・シンガーズのスカット・バージョンなど、十分鑑賞に耐えうるどころか、聴けばやはりそれもバッハなのである。そこで、没後250年を迎える今年、多分世界中のどの合唱団も取り上げないであろう、ふざけきった編曲ものを演奏しようとしてみた。バッハの器楽作品を14曲つなげ、そこに誰でも知っている早口ことばをのせてみた次第である。ちなみに、バッハ64とは、かけ算九九の八の段の駄洒落。楽しみ方その1、14曲中何曲知っているか試してみる。その2、早口ことばの口が回っていないメンバーを見つけてはくそ笑む。

Soprano

井桁 由美子  
尾形 晃子  
佐藤 純子  
豊崎 光子  
長島 裕子  
林 礼子  
堀野 直美  
三浦 香代子  
渡辺 亜紀子

Alto

稲葉 由美子  
大樋 彩子  
草場 澄江  
来栖 美和子  
佐藤 紀子  
柴 信子  
堀内 みずき  
増田 佐智子

Tenor

井桁 嘉一  
石橋 芳弘  
大槻 幸雄  
川崎 将人  
木内 博和  
草場 康裕  
佐藤 宏之  
渡辺 晋久

Bass

天沼 透  
有馬 秀夫  
大場 点  
大樋 亨  
佐藤 正史  
澤野 理  
増田 正樹  
湯浅 康裕



クール・ルシャン メンバー募集

クール・ルシャンでは団員を募集しています。お気軽にご参加下さい。  
練習：毎月第2・4土曜日 18:30~21:30 市川文化会館など  
当面の目標：2001年6月に第3回演奏会を開催  
子連れでの練習参加可です！(練習場の半分は子供の遊び場)。  
連絡先：川崎 [ ] または 湯浅 [ ]